

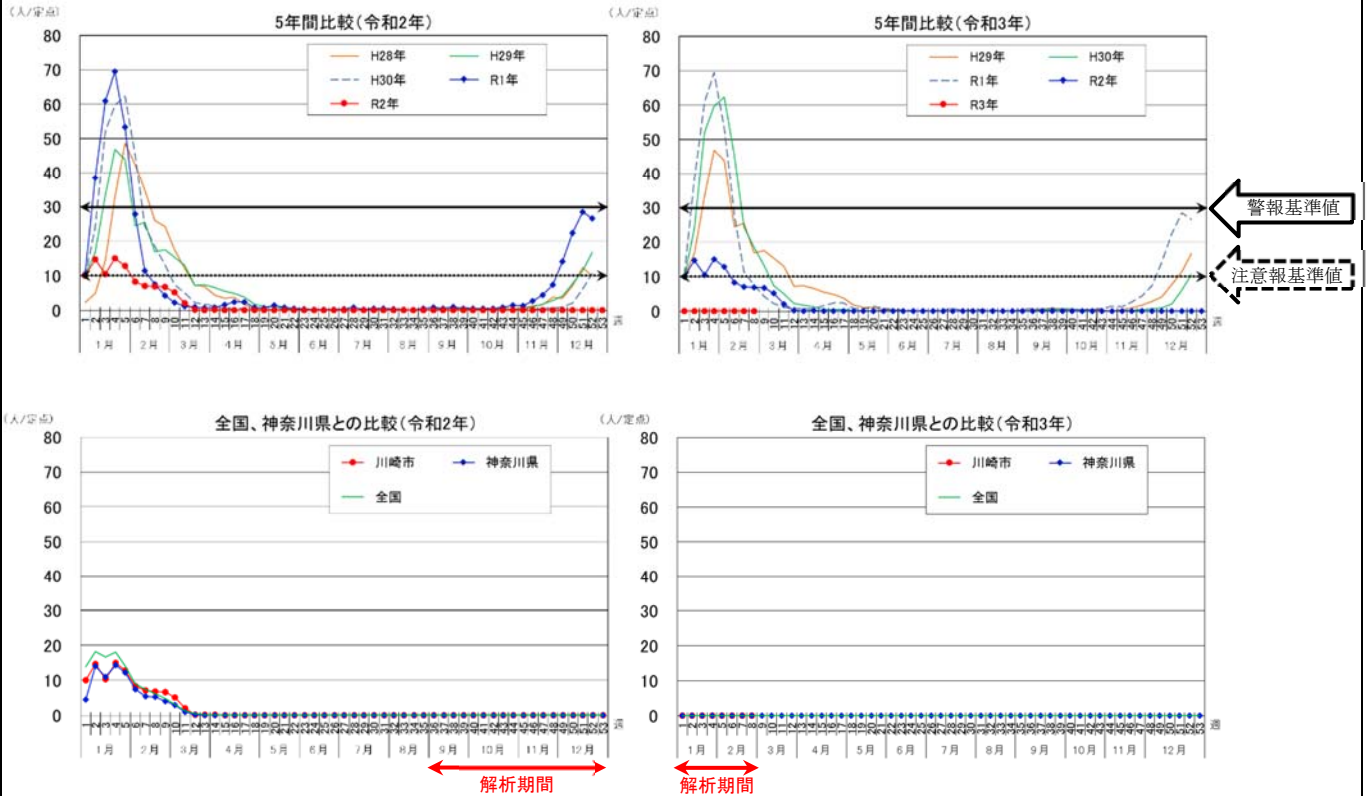
(2) 定点把握疾患の届出状況(令和2年9月～令和3年2月)

<インフルエンザ定点対象疾患>

インフルエンザ(警報基準値:定点当たり30人、注意報基準値:定点当たり10人)

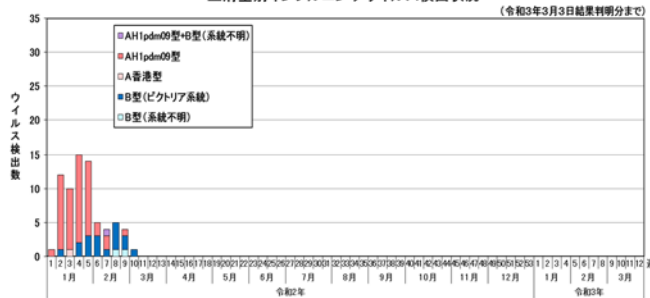
【川崎市】

今期(令和2年9月～令和3年2月)は定点当たり0.004人の報告となり、極めて低いレベル(過去5年平均の報告数の0.0004倍)で推移しました。2020/2021シーズンは、令和2年第53週及び令和3年第2週に各2件、令和2年第42週、令和3年第3週及び第5週に各1件の報告がありました。なお、流行開始の目安である定点当たり1.00人を超える週はありませんでした。



なお、2020/2021シーズンは病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

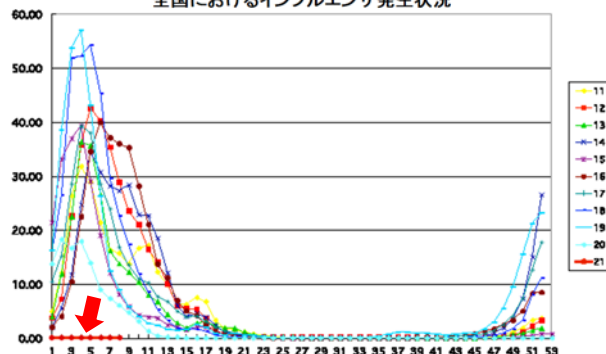
血清型別インフルエンザウイルス検出状況



【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

全国におけるインフルエンザ発生状況

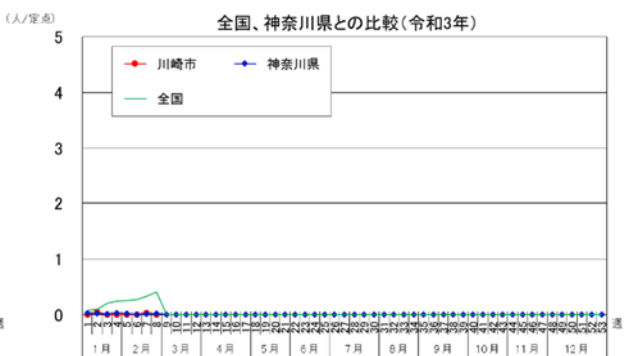
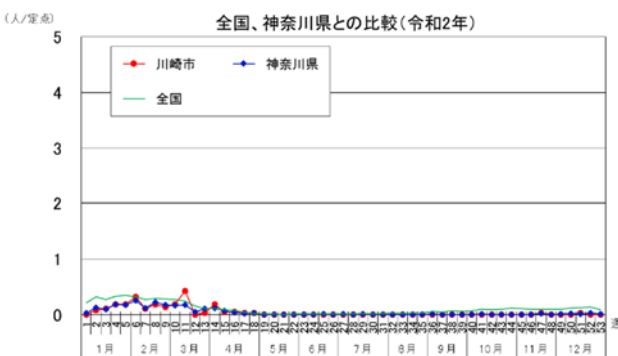
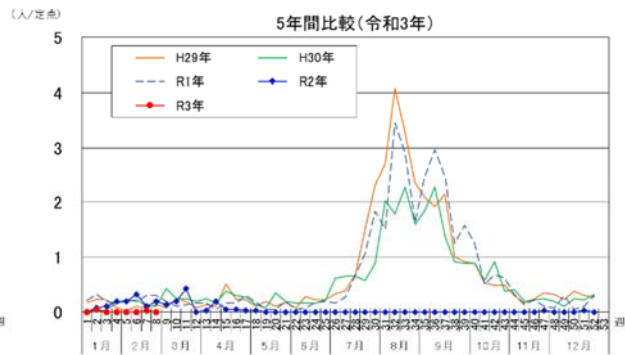
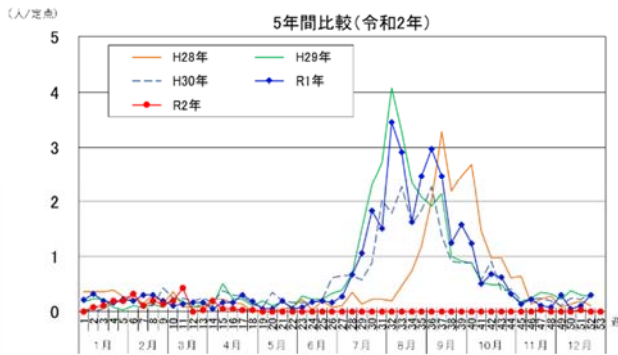


<小児科定点対象疾患>

RSウイルス感染症

【川崎市】

今期は定点当たり 0.01 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.02 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。なお、平成 28 年以降冬季の流行はみられていません。



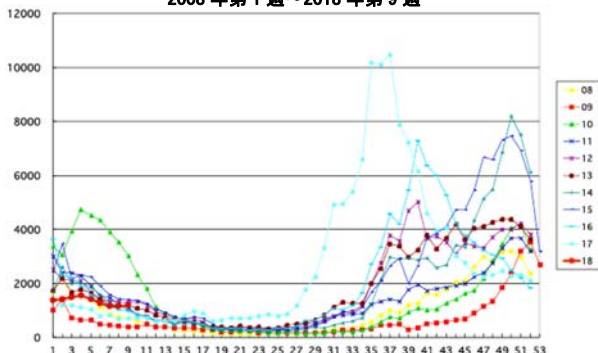
なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	女	1	R3.1.15	鼻腔ぬぐい液	RS ウイルス B 型

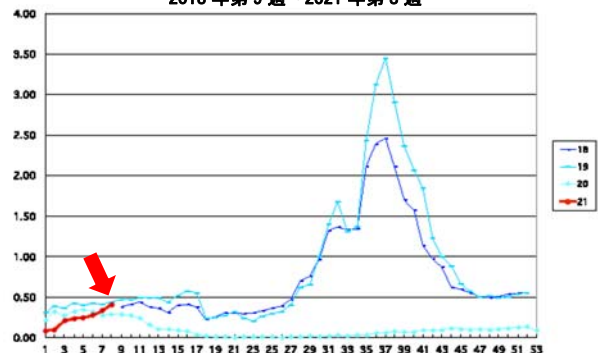
【全国及びその他】

全国的にも 9 月以降例年よりかなり低いレベルで推移しましたが、2 月以降は例年並みのレベルで推移しました。

全国における RS ウイルス感染症発生状況 (報告数)
-2008 年第 1 週~2018 年第 9 週-



全国における RS ウイルス感染症発生状況 (定点当たり報告数)
-2018 年第 9 週~2021 年第 8 週-



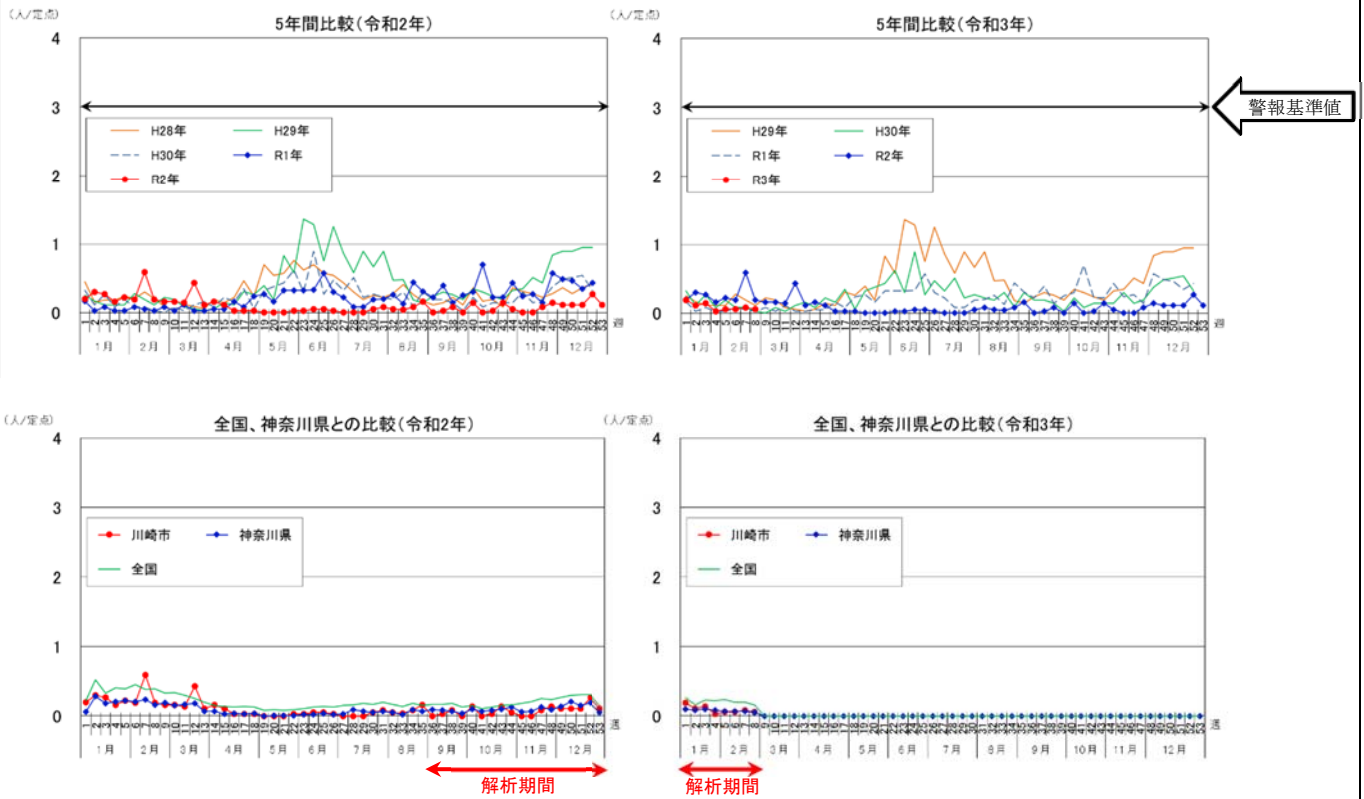
※2018 年第 9 週(2 月 26 日~3 月 4 日)から、国立感染症研究所における RS ウイルス感染症の集計方法が変更となりました。(報告数→定点当たり報告数)

咽頭結膜熱(警報基準値:定点当たり3人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.08 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.30 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (3) 以上となった週はありませんでした。

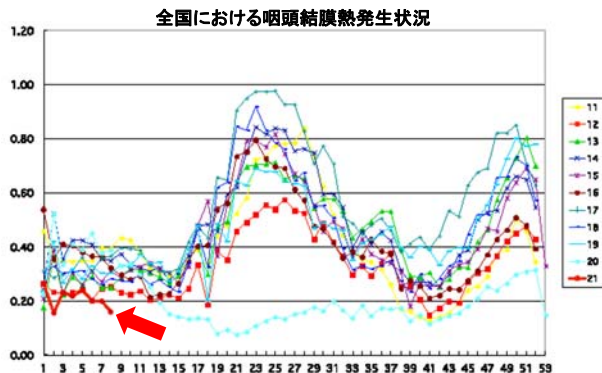


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	女	3	R2.9.30	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 1 型
中原区	男	2	R2.12.7	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 2 型

【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

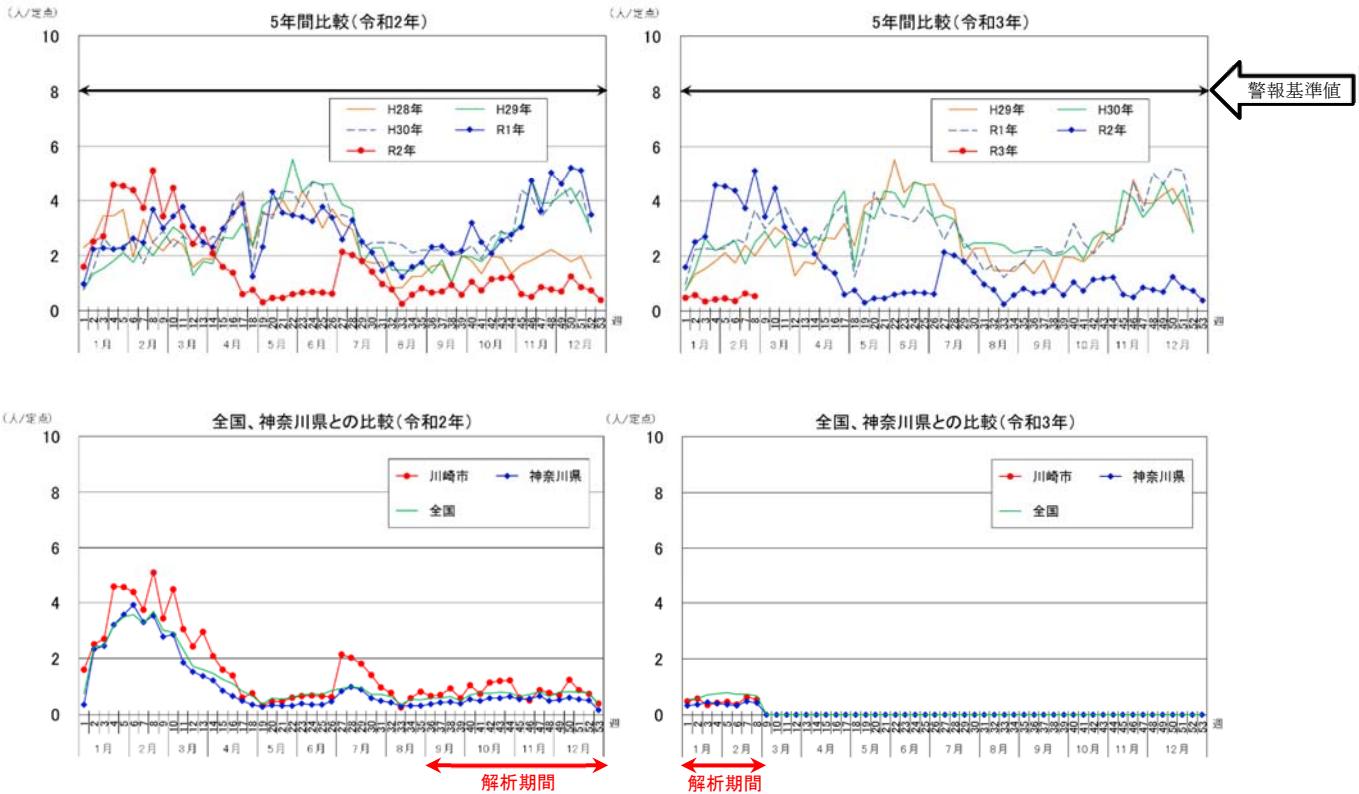


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報基準値:定点当たり8人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.72 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.27 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (8) 以上となった週はありませんでした。

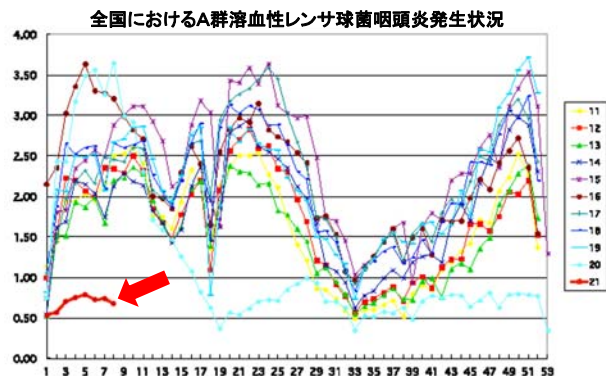


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	男	1	R2.10.2	咽頭ぬぐい液	不検出
多摩区	男	2	R2.12.10	咽頭ぬぐい液	不検出

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

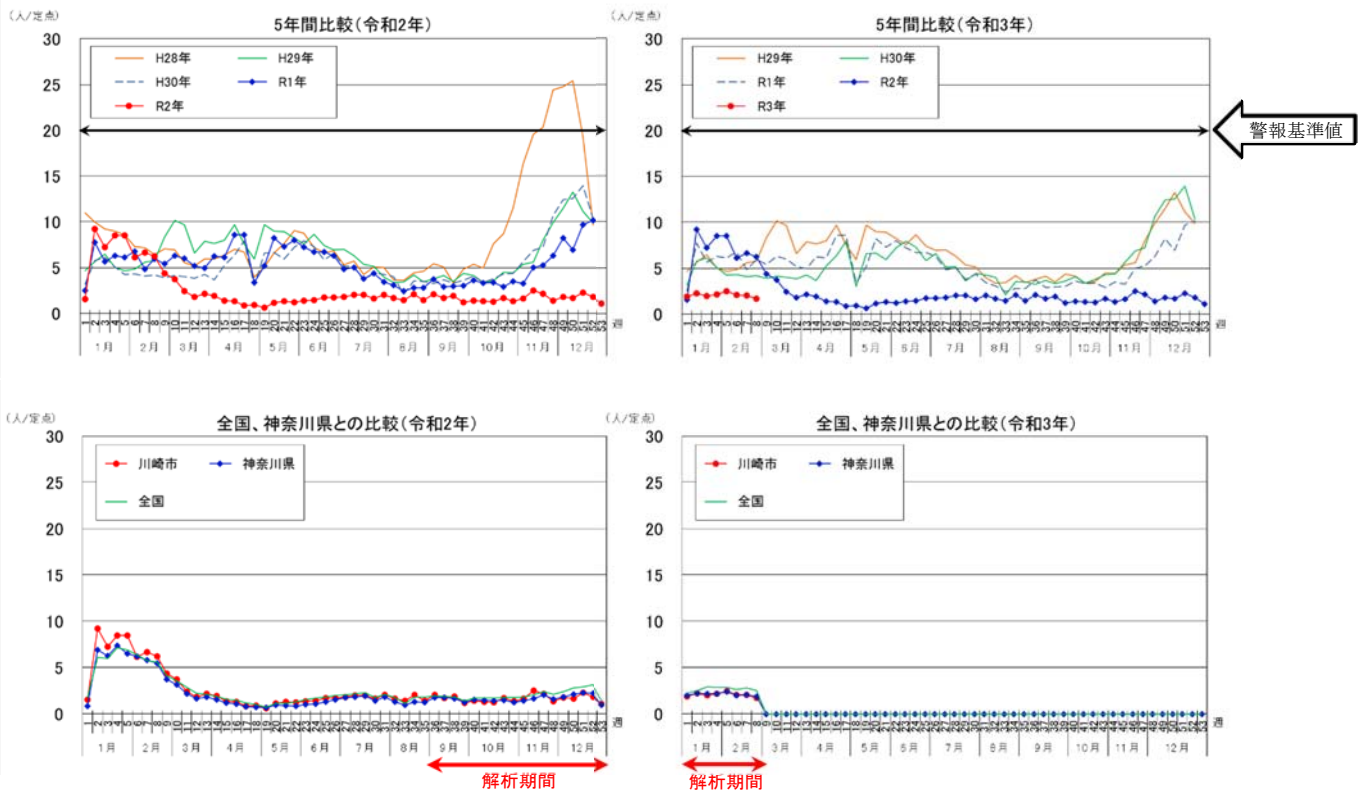


感染性胃腸炎(警報基準値: 定点当たり 20 人)

【川崎市】

今期は定点当たり 1.79 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.24 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (20) 以上となった週はありませんでした。

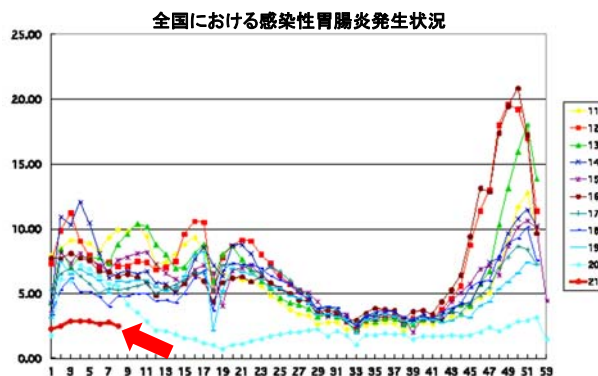


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果(ウイルス)	検査結果(細菌)
中原区	男	8 か月	R3.1.16	ふん便	ノロウイルス GII.4	陰性

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

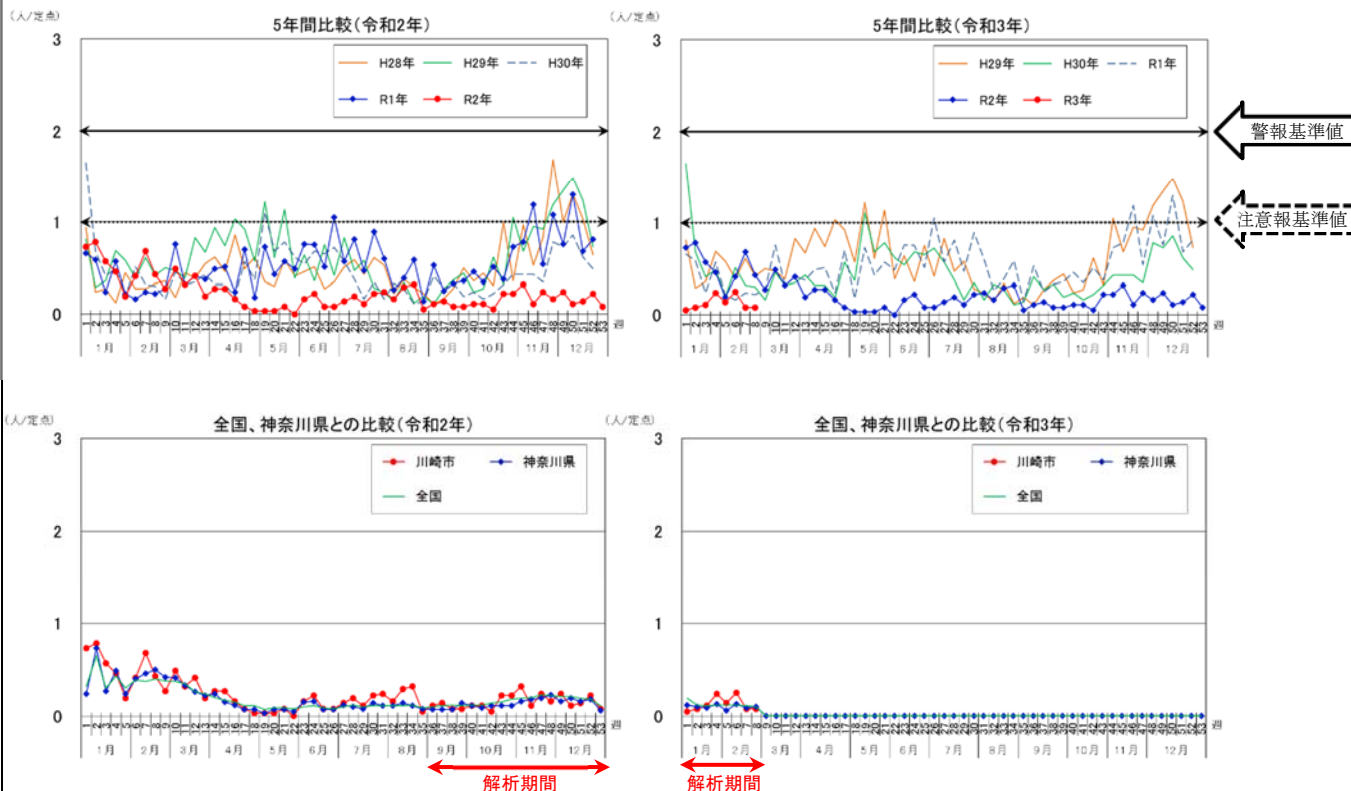


水痘(警報基準値:定点当たり2人、注意報基準値:定点当たり1人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.15 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.26 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

今期、流行発生注意報基準値 (1) 以上となった週は、川崎区で第 45 週及び第 47 週、高津区で第 49 週、多摩区で第 6 週でした。

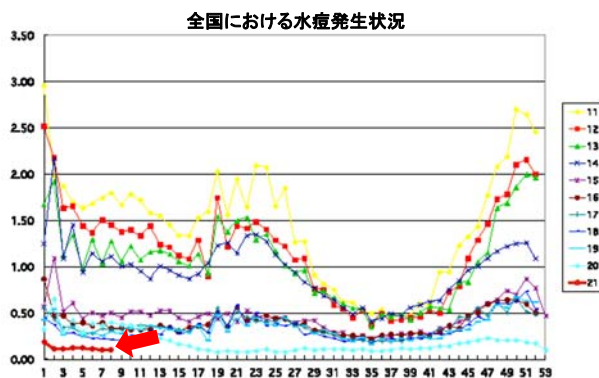


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	男	5	R3.2.24	咽頭ぬぐい液	水痘・帯状疱疹ウイルス
					ヒトヘルペスウイルス 6 型

【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

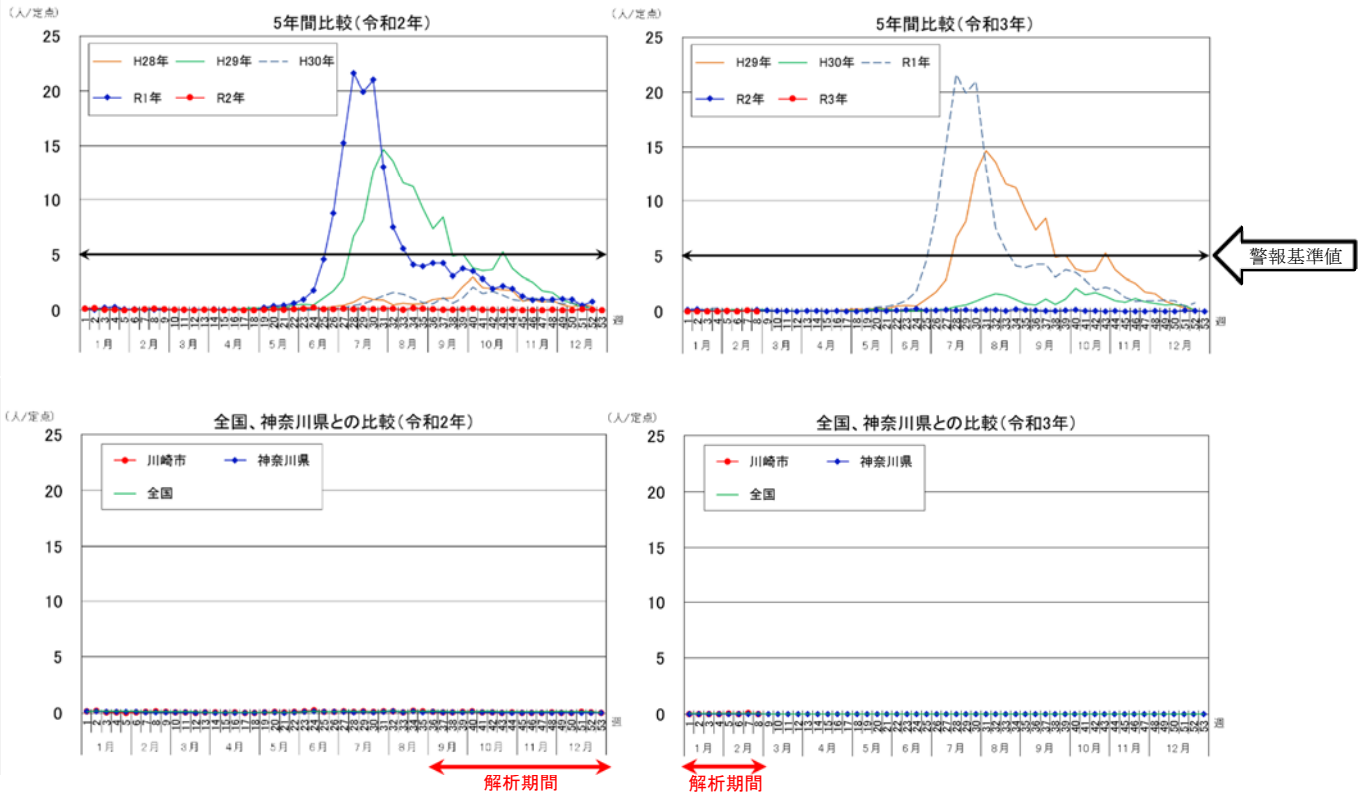


手足口病(警報基準値:定点当たり5人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.03 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.02 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

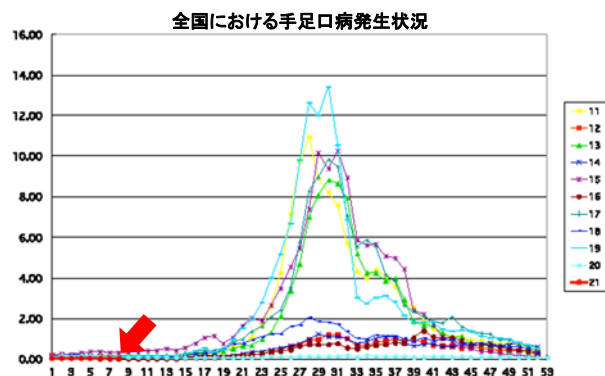
今期、流行発生警報基準値 (5) 以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

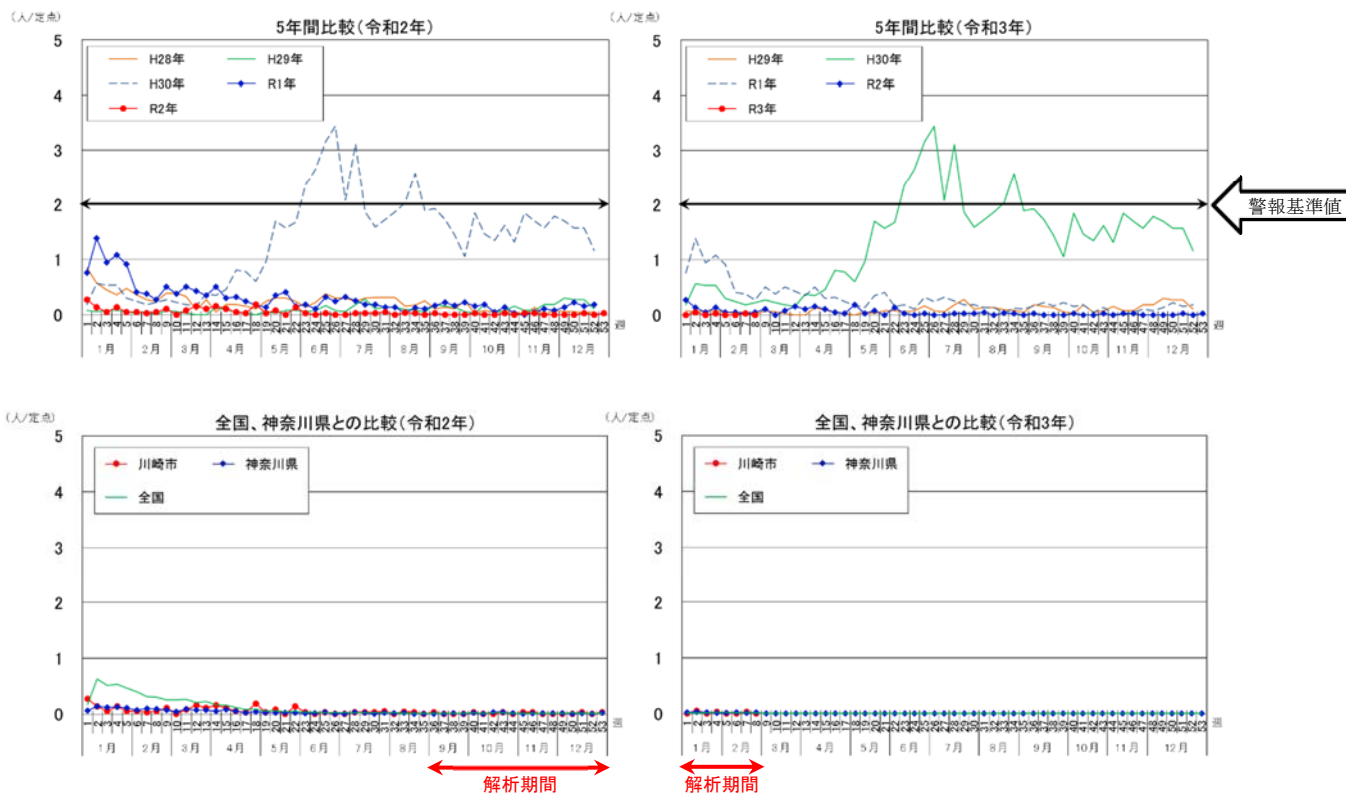


伝染性紅斑(警報基準値:定点当たり2人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.01 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.02 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

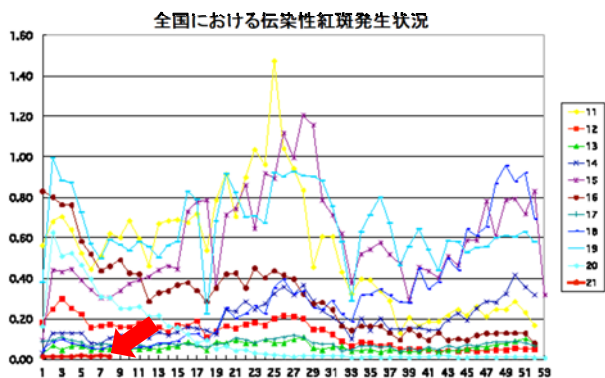
今期、流行発生警報基準値 (2) 以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

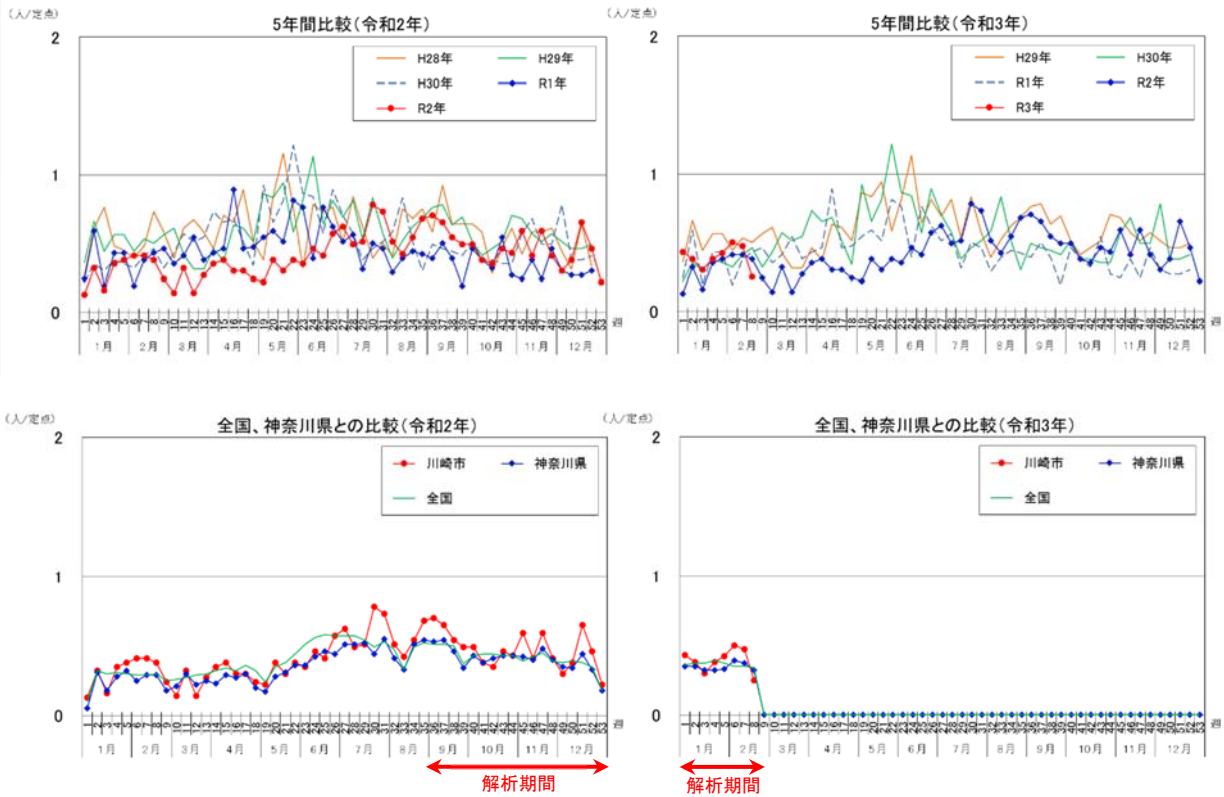


突発性発しん

【川崎市】

今期は定点当たり 0.45 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.96 倍で、例年並みのレベルで推移しました。

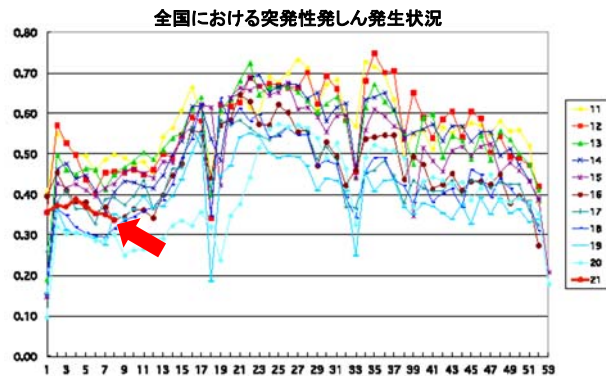
また、年齢階級別では 1 歳以下が 79.4% を占めていました。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的には例年よりやや低いレベルで推移しました。

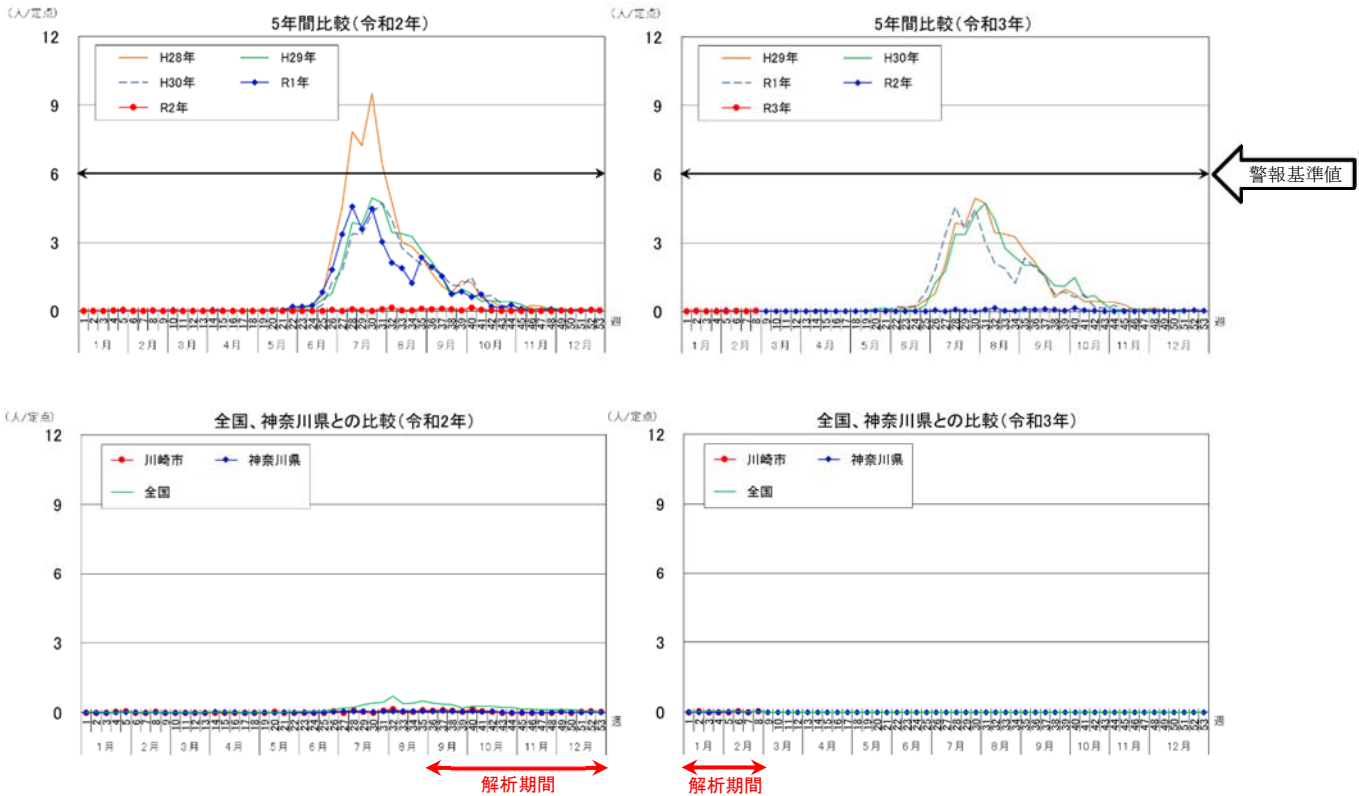


ヘルパンギーナ(警報基準値: 定点当たり 6 人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.03 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.09 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

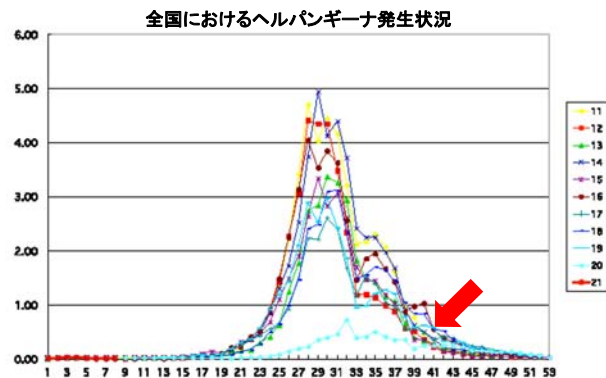
今期、流行発生警報基準値 (6) 以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移し、10月中旬以降は例年並みのレベルで推移しました。

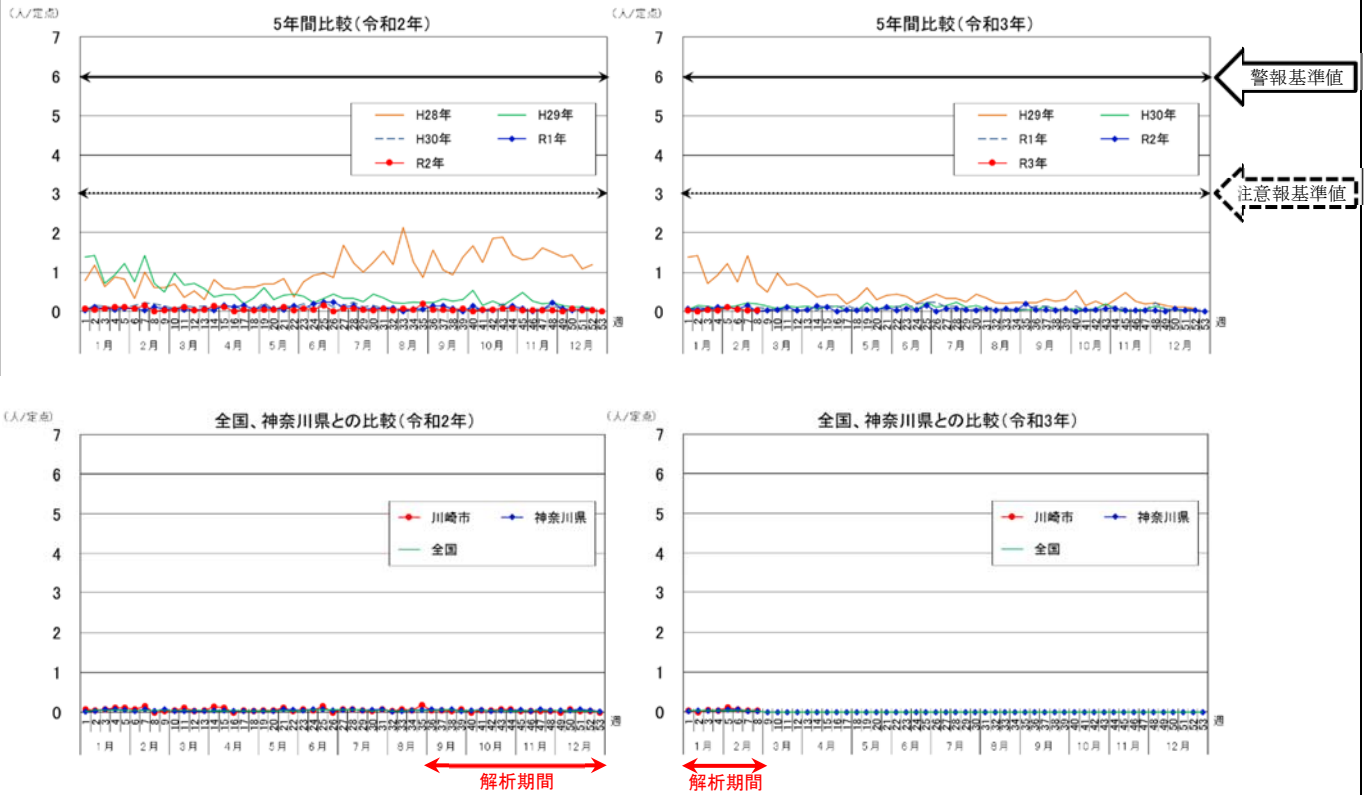


流行性耳下腺炎(警報基準値:定点当たり6人、注意報基準値:定点当たり3人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.04 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.09 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

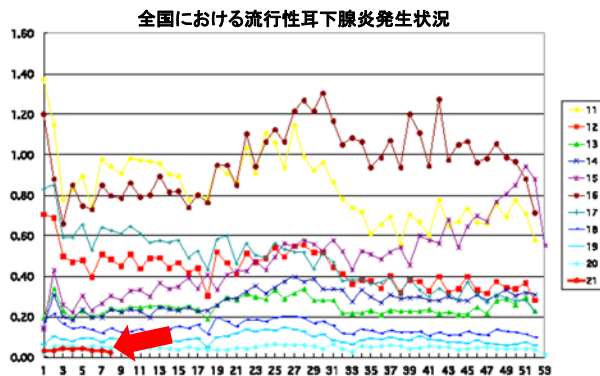
今期、流行発生注意報基準値 (3) 以上となった週はありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

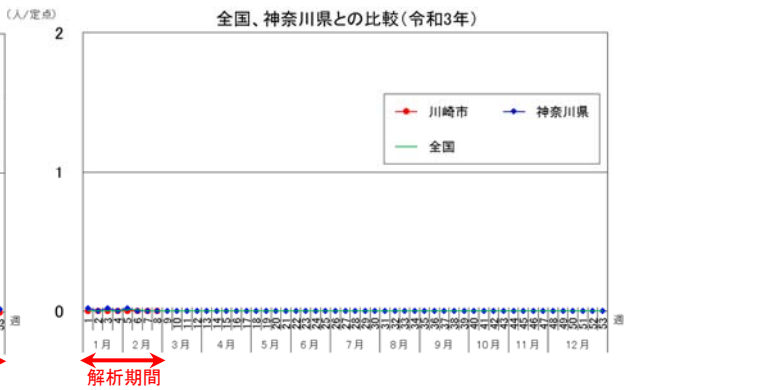
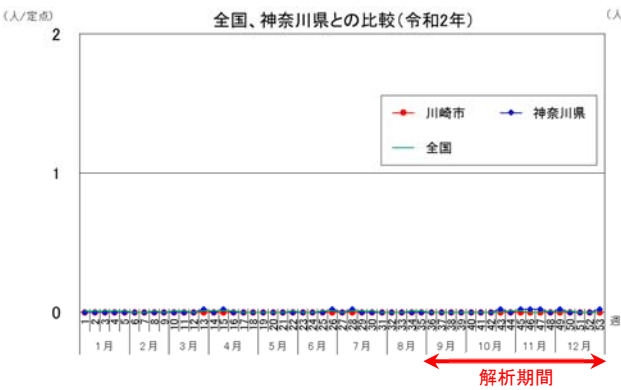
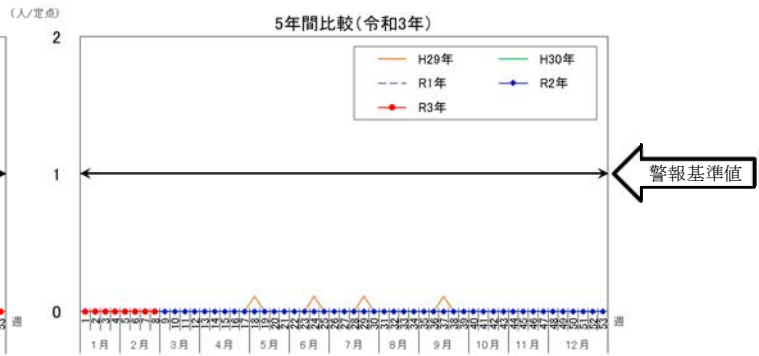
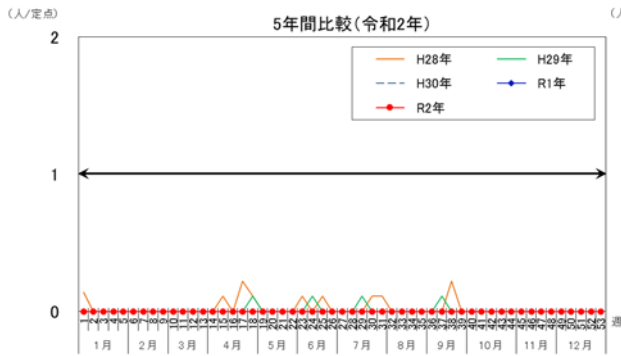


<眼科定点対象疾患>

急性出血性結膜炎(警報基準値:定点当たり1人)

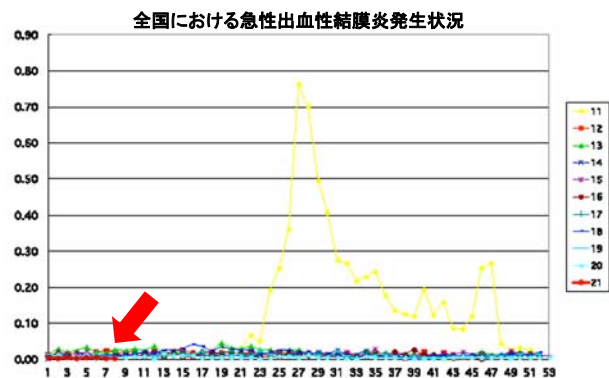
【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

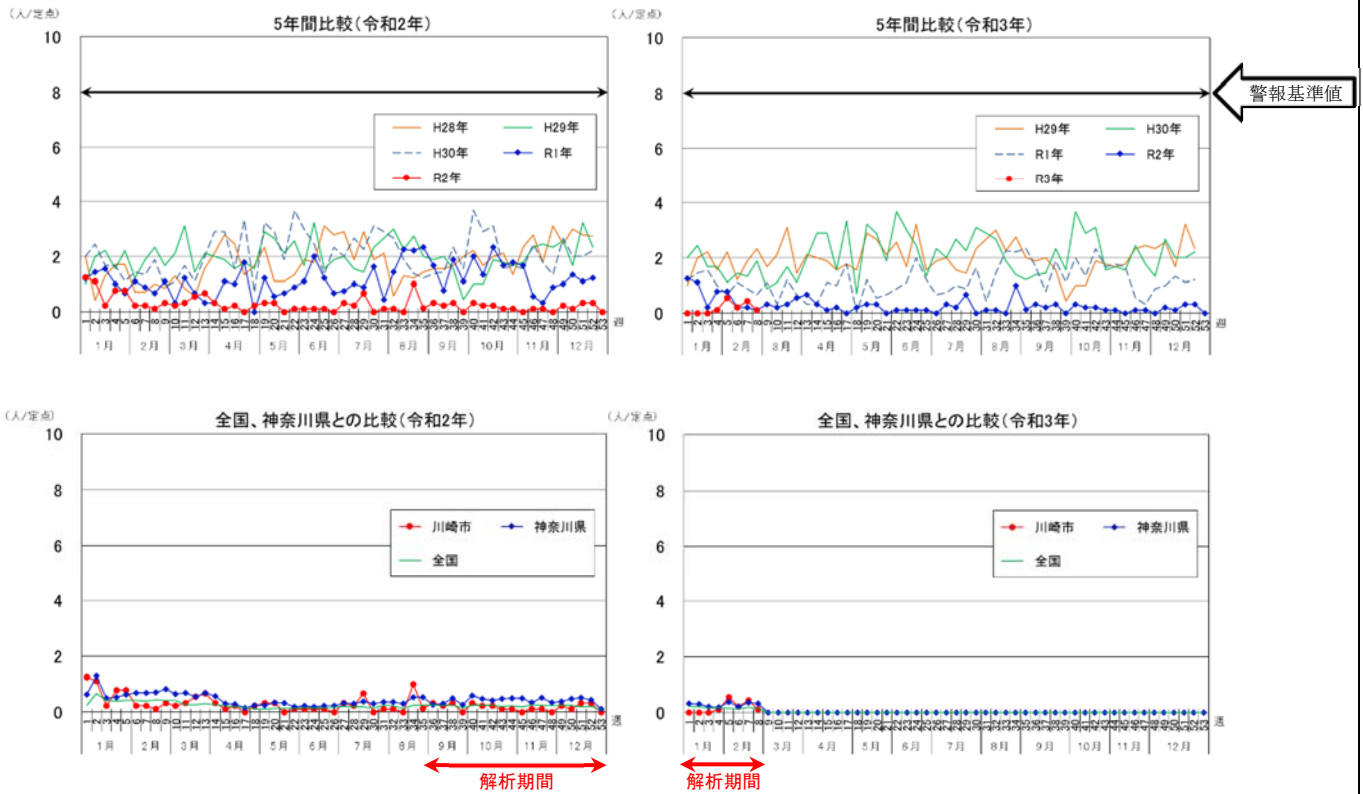


流行性角結膜炎(警報基準値:定点当たり8人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.18 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.12 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (8) 以上となった週はありませんでした。

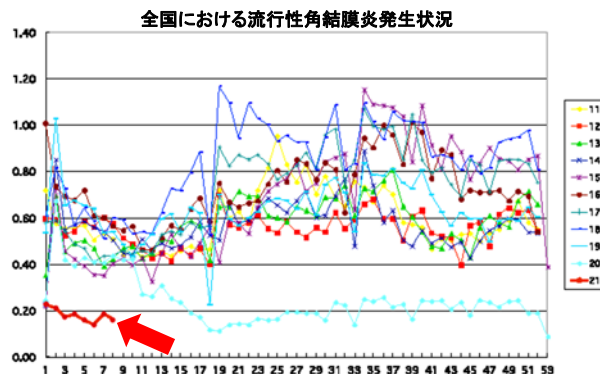


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
川崎区	男	32	R2.10.20	眼脂	アデノウイルス 53 型
川崎区	男	47	R2.12.14	眼脂	アデノウイルス 53 型

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

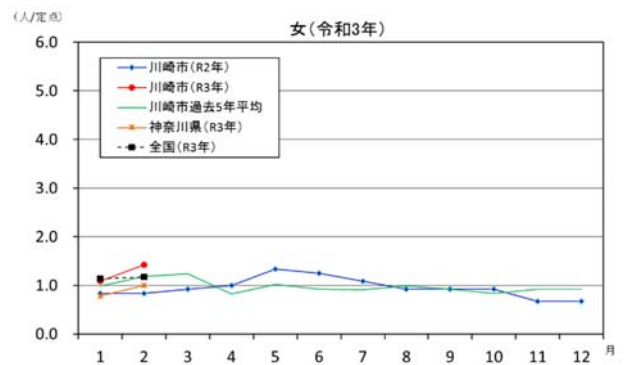
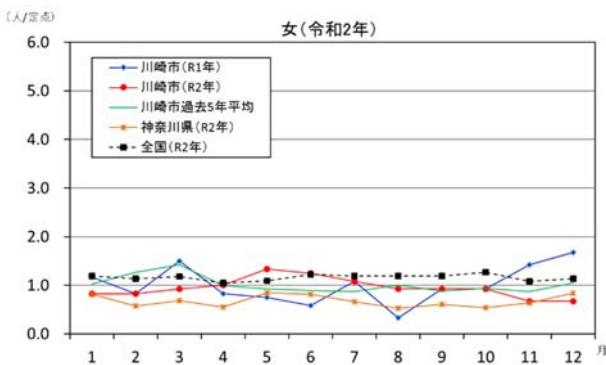
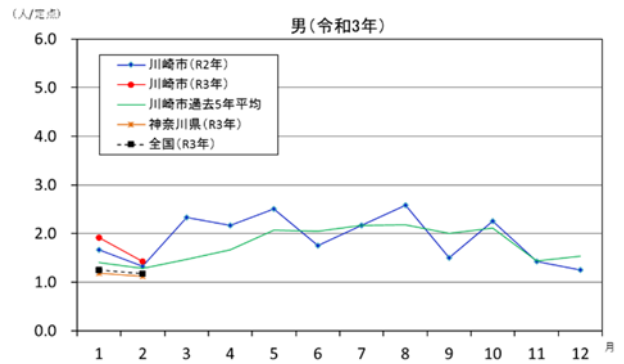
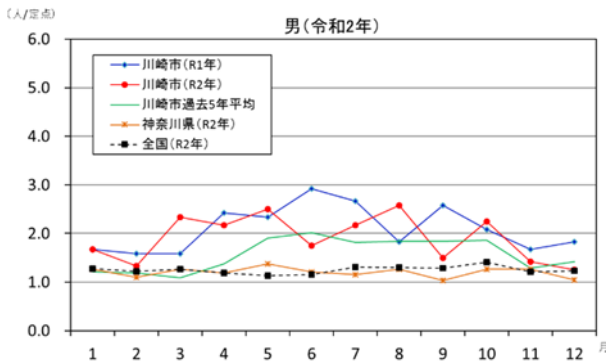
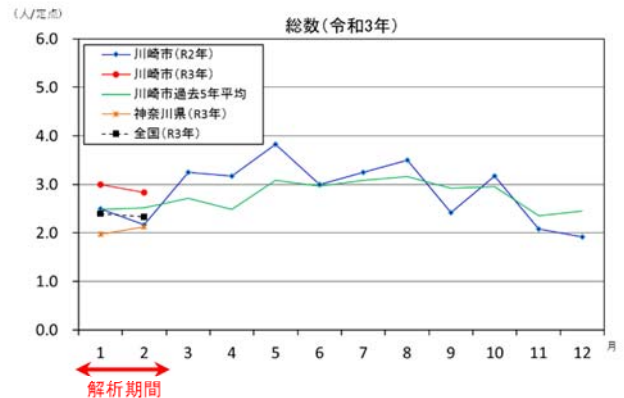
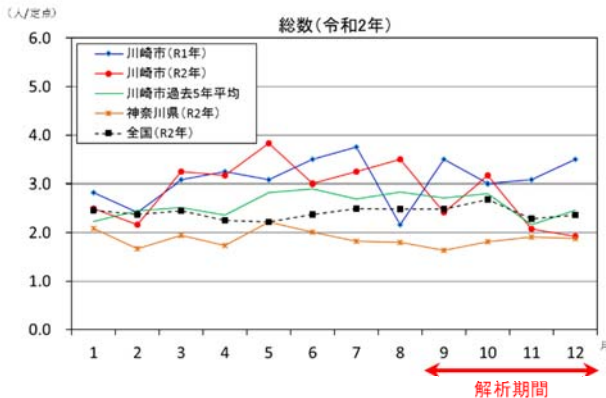


<性感染症定点対象疾患>

性器クラミジア感染症

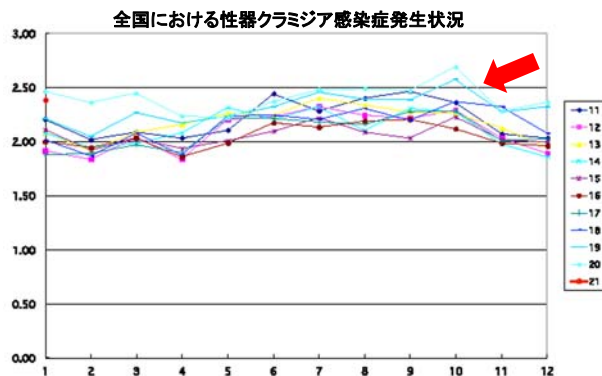
【川崎市】

今期は定点当たり 2.57 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.03 倍で、例年並みのレベルで推移しました。



【全国及びその他】

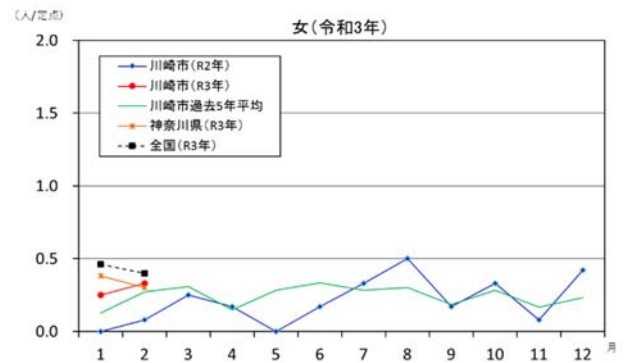
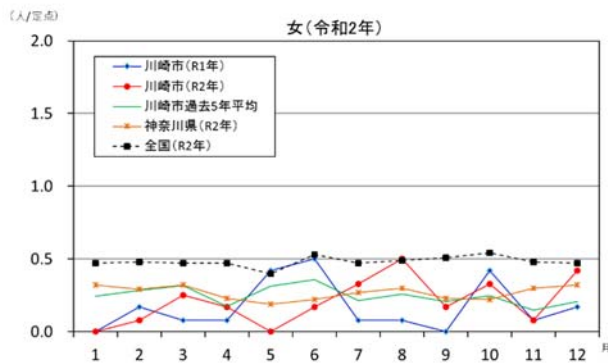
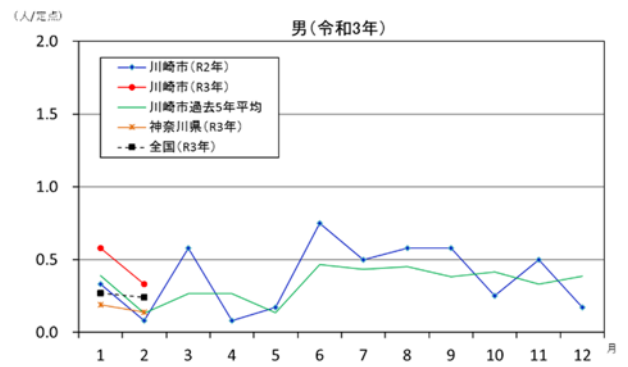
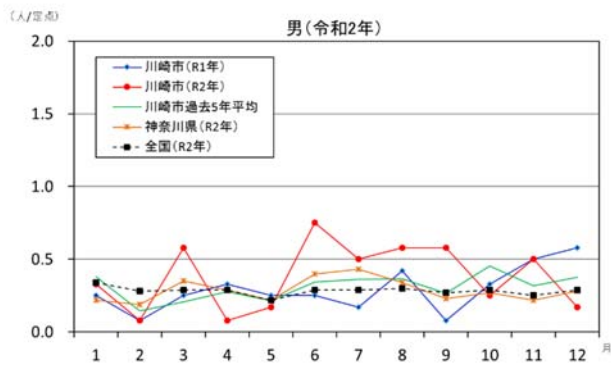
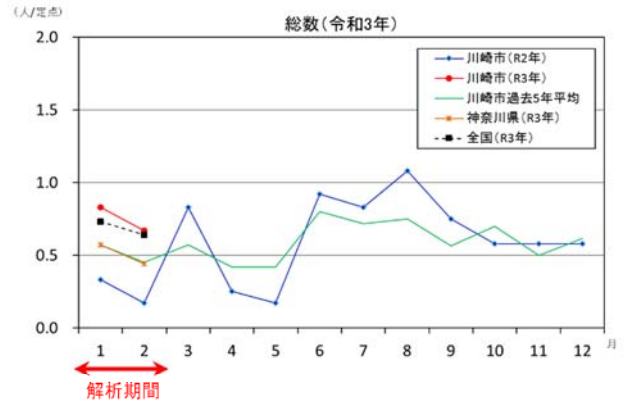
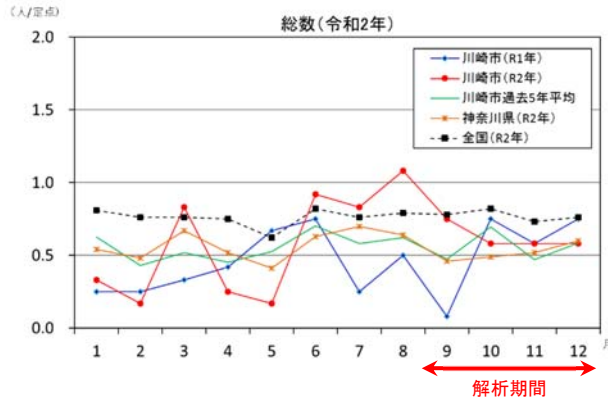
全国的には例年よりやや高いレベルで推移しました。



性器ヘルペスウイルス感染症

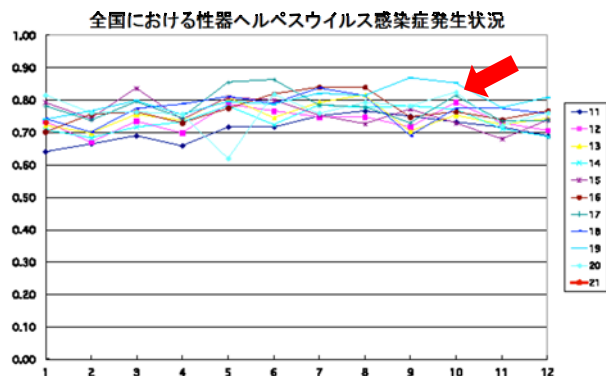
【川崎市】

今期は定点当たり 0.67 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.28 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。男性は 9 月及び 1 月、女性は 12 月に報告数が増加しました。



【全国及びその他】

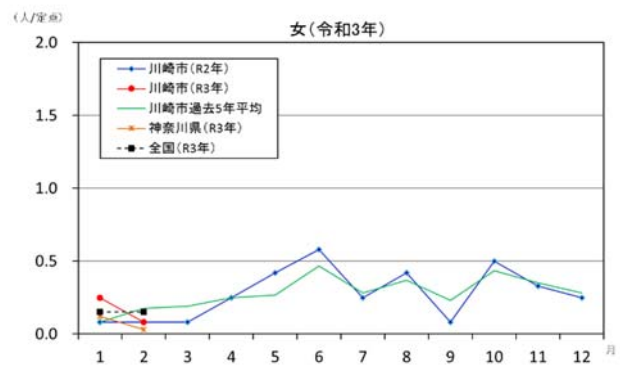
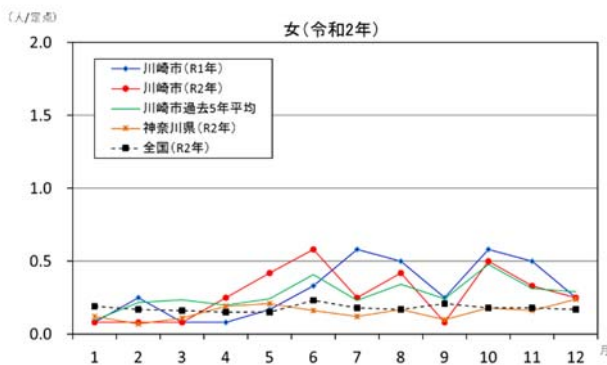
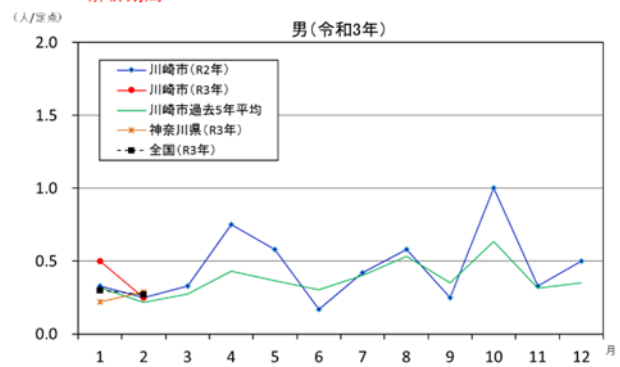
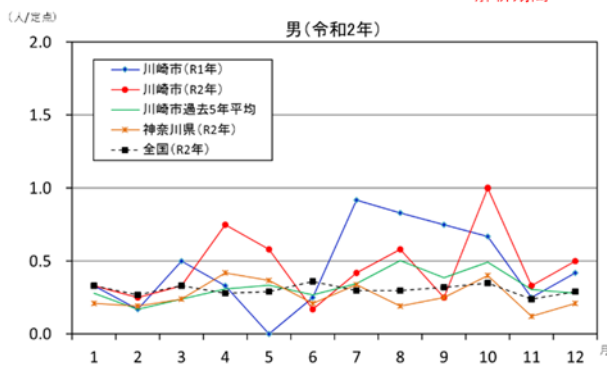
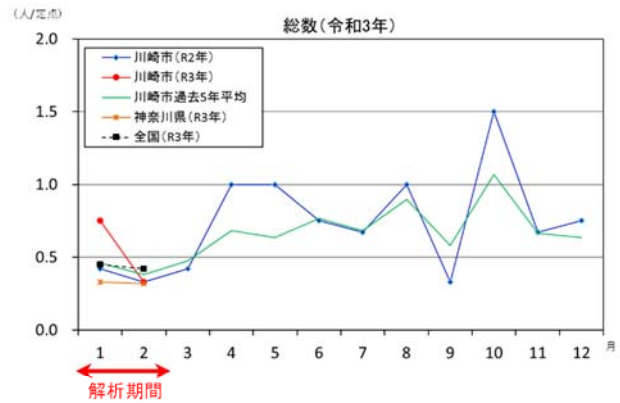
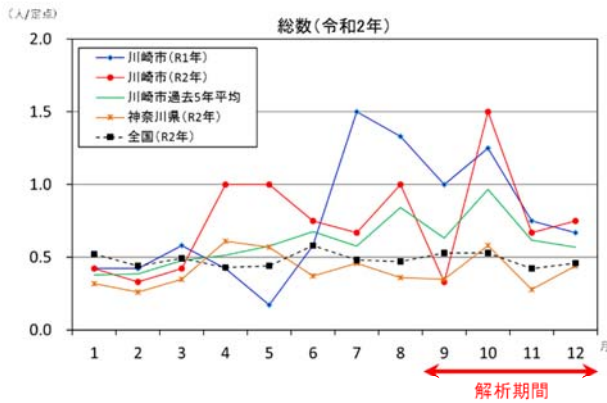
全国的にも 9 月～10 月は例年よりやや高いレベルで推移しましたが、11 月以降は例年並みのレベルで推移しました。



尖圭コンジローマ

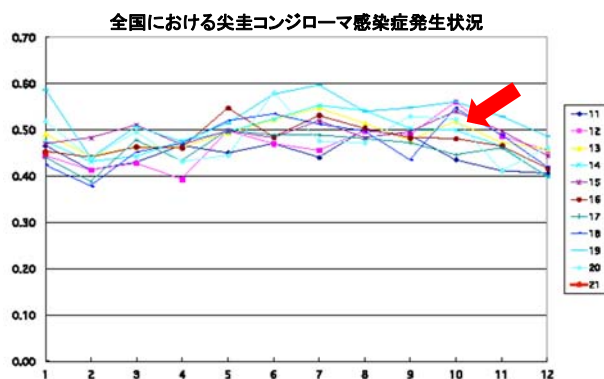
【川崎市】

今期は定点当たり 0.72 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.21 倍で、例年並みのレベルで推移しました。特に男性は 10 月に報告数が急増しました。



【全国及びその他】

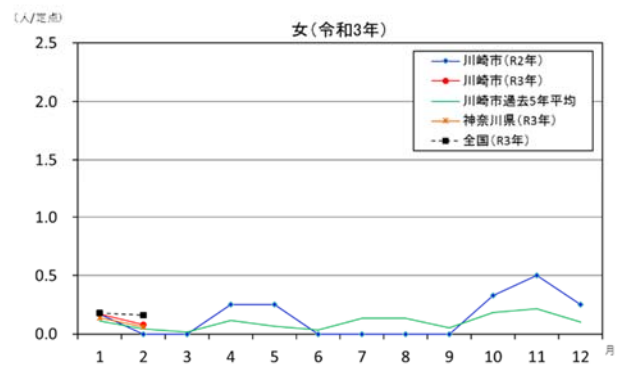
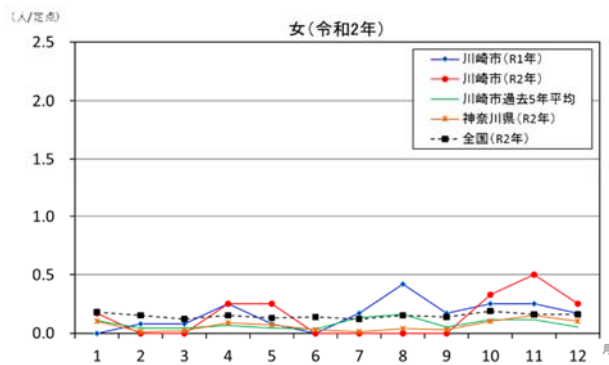
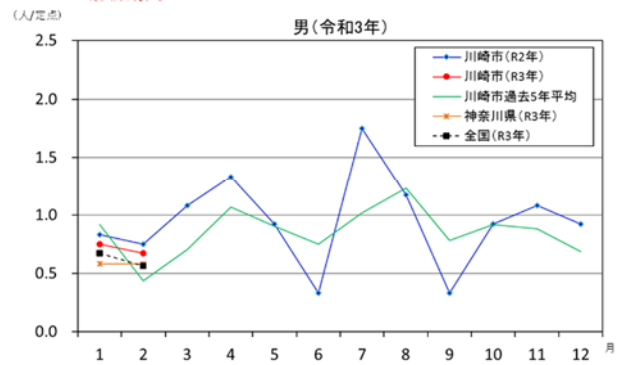
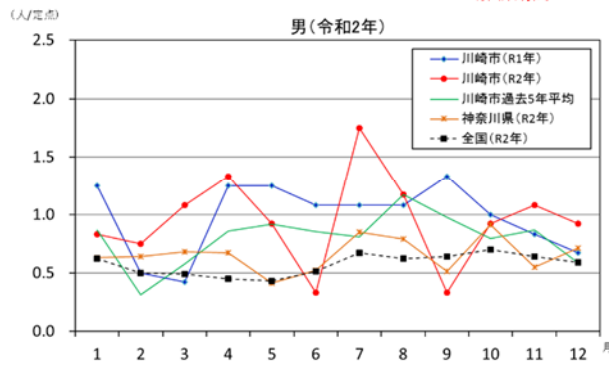
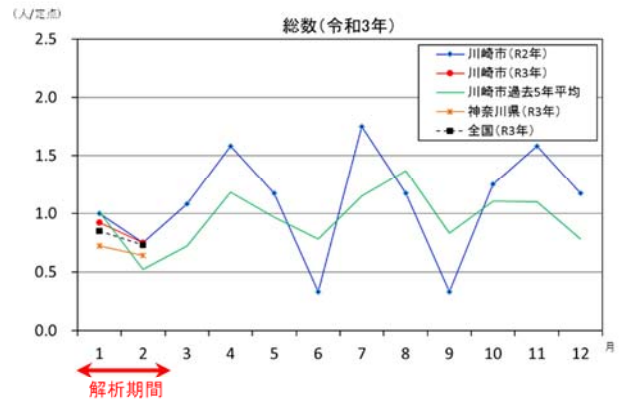
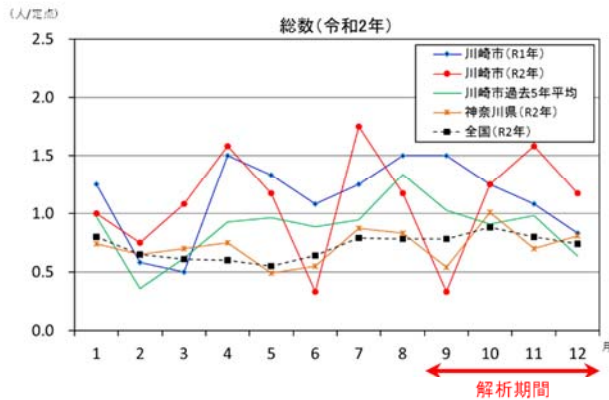
全国的にも例年並みのレベルで推移しました。



淋菌感染症

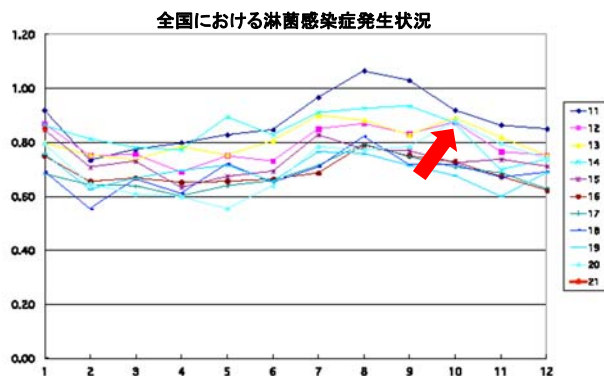
【川崎市】

今期は定点当たり 1.00 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.18 倍で、例年並みのレベルで推移しました。男女共 10 月～12 月に報告数が増加しました。



【全国及びその他】

全国的には例年よりやや高いレベルで推移しました。

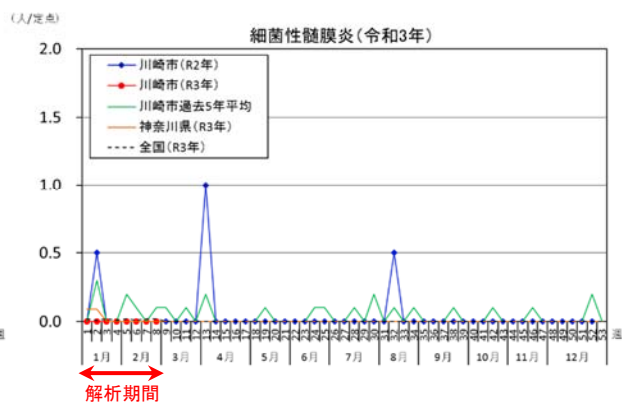
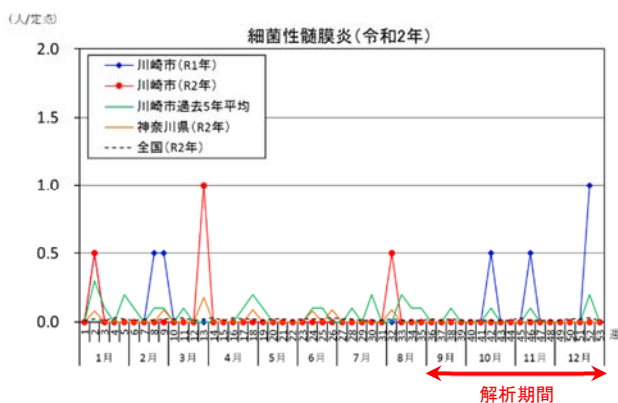


<基幹定点対象疾患（週報）>

細菌性髄膜炎

【川崎市】

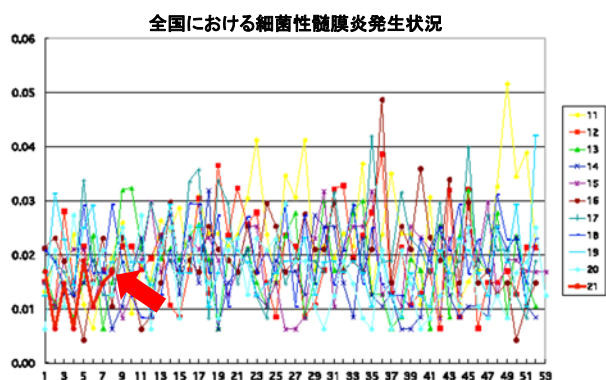
今期は報告がありませんでした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

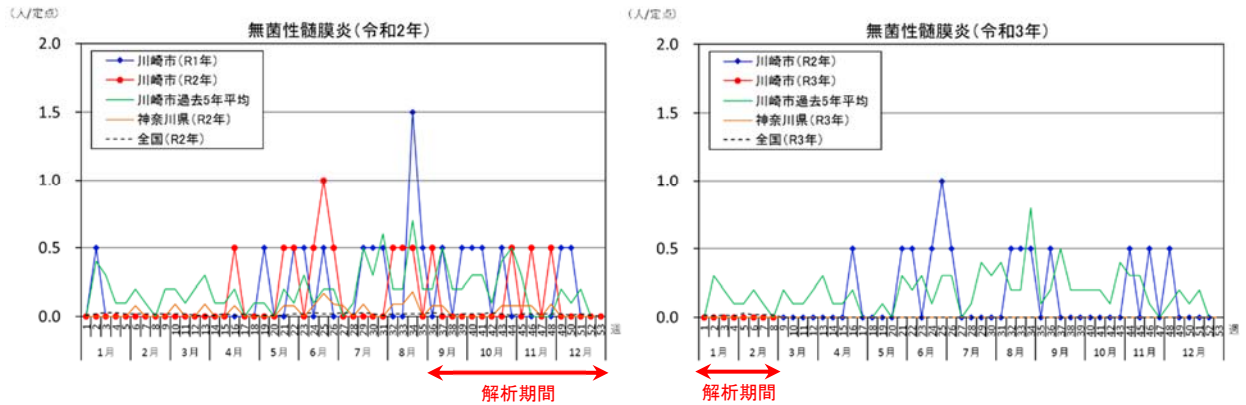
全国的には例年よりやや低いレベルで推移しました。



無菌性髄膜炎

【川崎市】

今期は定点当たり 0.08 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.45 倍で、例年低いレベルで推移しました。

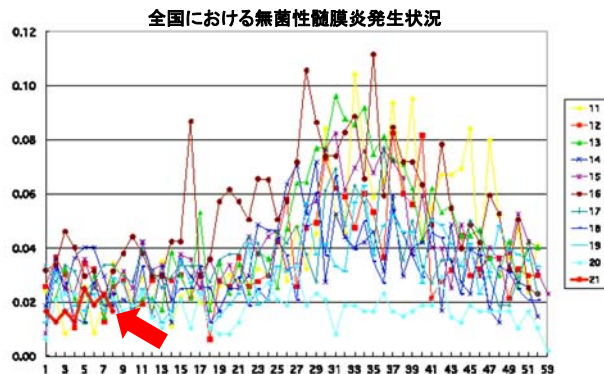


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
川崎区	男	23	R2.9.6	髄液	水痘・帯状疱疹ウイルス
宮前区	男	1	R2.10.22	髄液	
			R2.10.23	ふん便	
			R2.10.25	咽頭ぬぐい液	陰性
川崎区	女	52	R2.11.11	髄液	陰性
川崎区	男	6	R2.11.22	髄液	陰性
川崎区	女	6	R3.1.27	髄液	陰性

【全国及びその他】

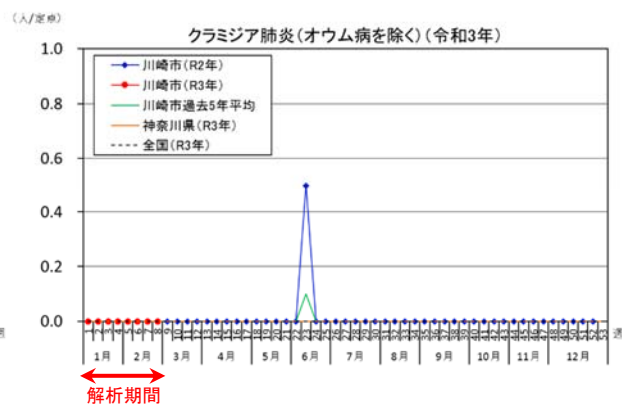
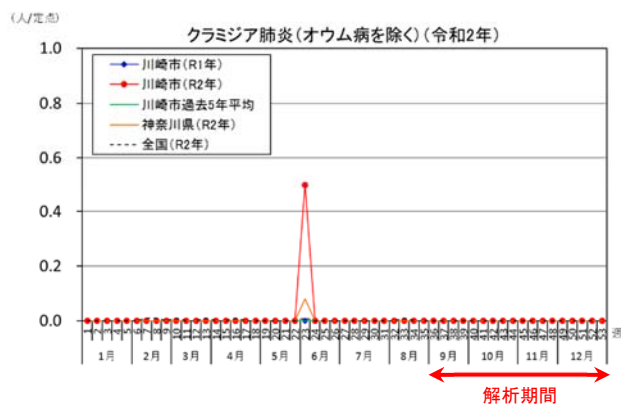
全国的にも例年より低いレベルで推移しました。



クラミジア肺炎(オウム病を除く)

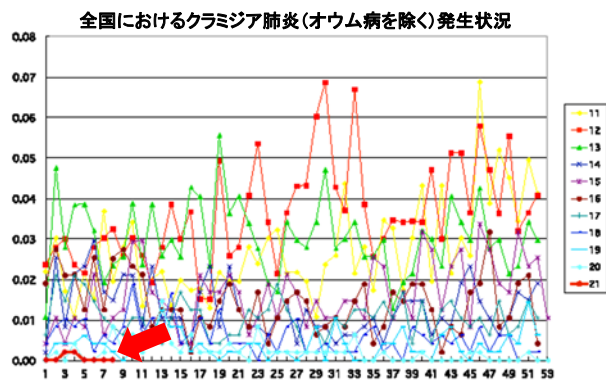
【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



【全国及びその他】

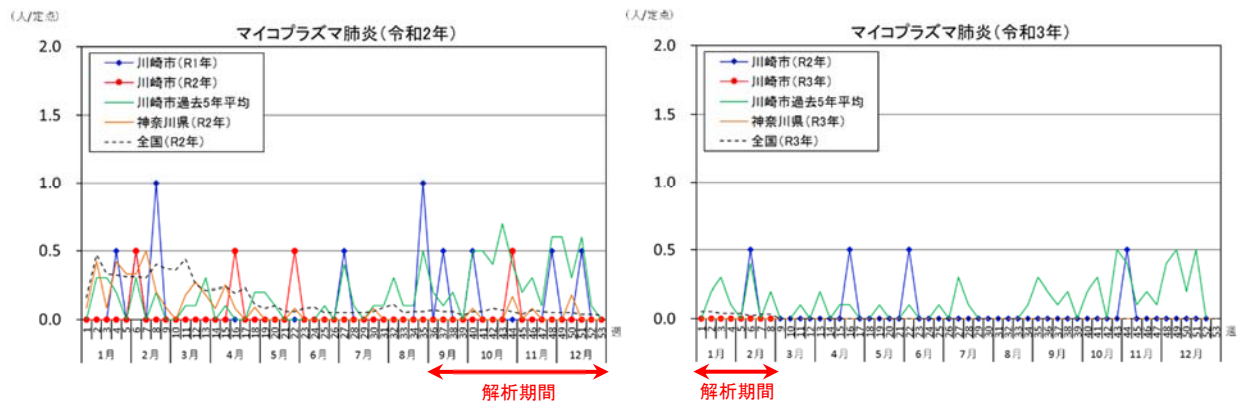
全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。



マイコプラズマ肺炎

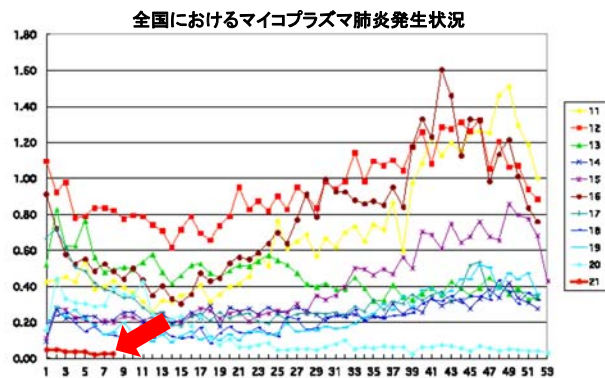
【川崎市】

今期は定点当たり 0.02 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.07 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。第 44 週に 1 件の報告がありました。



【全国及びその他】

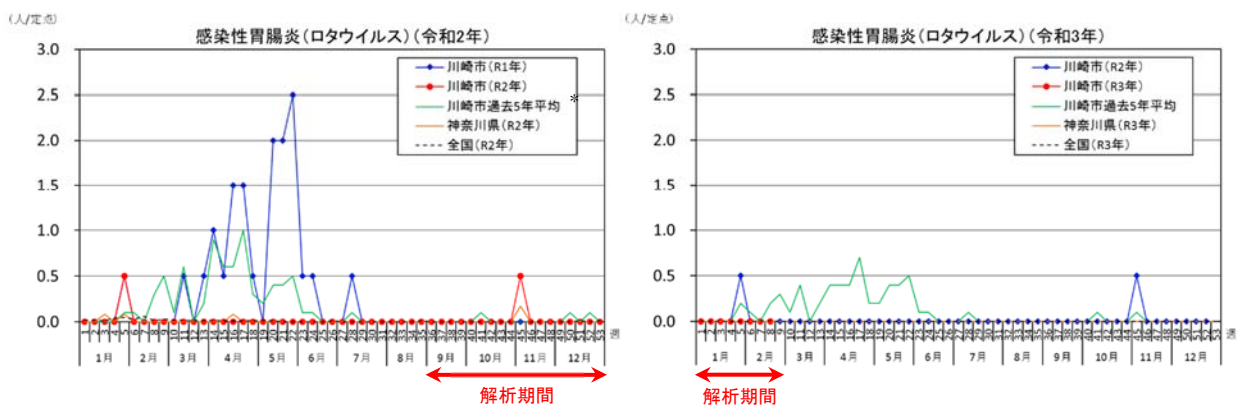
全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

【川崎市】

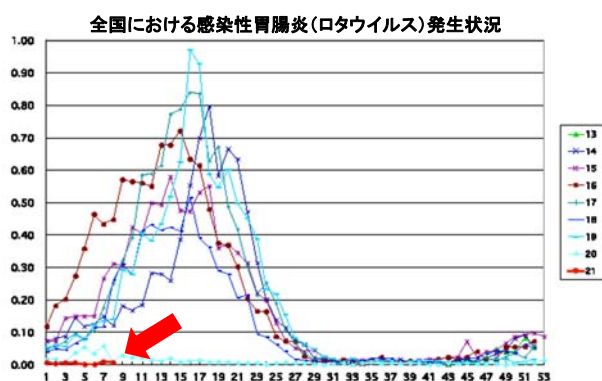
今期は定点当たり 0.02 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.63 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。第 45 週に 1 件の報告がありました。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的には例年よりかなり低いレベルで推移しました。

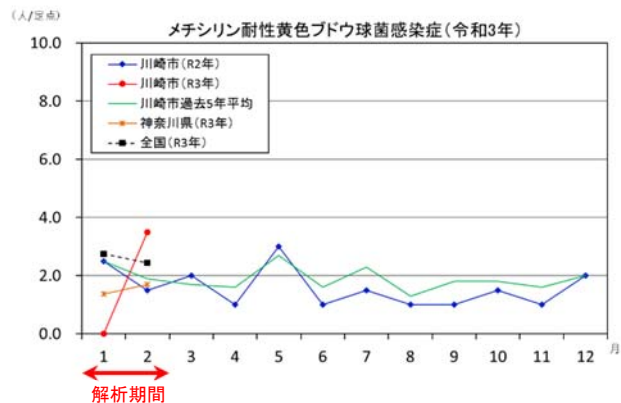
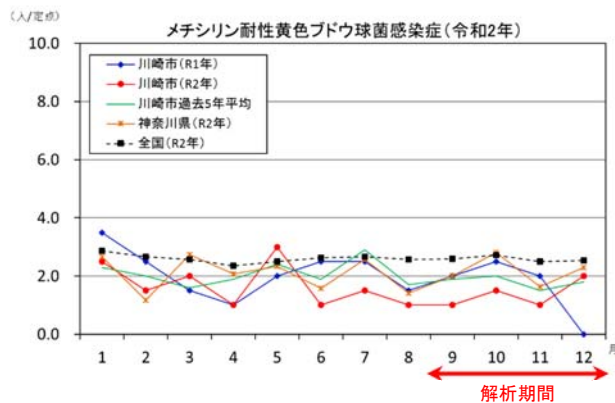


<基幹定点対象疾患（月報）>

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

【川崎市】

今期は定点当たり 1.50 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.78 倍で、例年並みのレベルで推移しました。2 月は報告数が増加しました。



【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

